

日新輝道



東大阪市立日新高等学校

校長室通信 2022.11.01発行

返事！あいさつ！声！ダッシュ！！

「勝因」とは「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、「敗因」とは「いい加減」「適当」「だいたい」、
今すぐできることは「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」
「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を徹底し、日本一輝きを放つ学校を目指します！

「明日の練習、2時から」と言われたら・・・、

その意識の在り方に勝敗の明暗はすでに存在する。

「時間を守りなさい。」「時間を大切にする。」といったことは、小さい頃からいろいろなところで言われて来ていることです。大人になっても同じで、社会でも当然、時間を守ることは大切です。よくある光景ですが、何かの会議や集会で開始時間が過ぎてもなかなか始まらない会議や集会があります。「まだ、みなさん揃われていないので少しお待ちください。」とアナウンスされます。この場面、みなさんはどう考えますか？

こうしたことを繰り返していると、その会議や集会の質が低下し、堕落していくこととなります。何故かという、その会議や集会を構成する集団が、無意識のうちにその会議や集会は、「少しくらい遅れても良い」という意識が定着してしまうからです。気がつけば、常に定刻には始まらない集団、もしくは始めることができない残念な集団となります。これは、その集団の日常がそうさせた結果です。こうなると、その中身も決定事項も重要なものではなくなってしまうのは当然です。



「明日の練習、2時から。」と指示を受けたとき、あるチームは2時に練習が始まり、別のチームは2時に集合します。さて、どちらのチームの方が勝てると思いますか。おそらく2時に始まるチームが勝てるチームでしょう。なぜなら、2つのチームの日常の「常識」や「当たり前」が違っているからです。この日常の「常識」や「当たり前」の差が、2時に集合すればよいと思っているチームには理解できません。

2時の20分～30分前の様子はのでしょうか。想像してみてください。片方のチームの選手は、着替えや準備のことを考え、「もう時間がない」と急いでいることでしょう。もう一方のチームの選手は、「まだ、間に合う」とスマホ時計を確認しながら、ギリギリを見据え、特に急ぐこともなくゆっくり歩いている光景が想像できます。

練習開始の様子はのでしょうか。片方のチームは、きびきびと声を出してベンチから飛び出し、練習が始まっているでしょう。もう一方のチームは、だらだらとしながら練習をはじめよ

うとしているのではないのでしょうか。もしかしたら、ユニフォームのベルトをしめながら、または、スパイクのかかとをコツコツしながら集合しているかもしれません。



日常の練習を時間通りに始めているのはどちらのチーム？

ユニフォームの着こなしを比べてみると・・・？

もしも、奇跡を起こすことができたとしたら、それはどちらのチーム？何が違う？

「明日の練習、2時から」ということだけをとらえても、いろいろなことが変わってきます。これらは時間のことだけではなく、日常の「常識」や「当たり前」に関係することです。つまり、「意識」が違っているのでしょう。たまたま2時間前後の場面を捉えてみましたが、その後の練習の様子や、日頃のチームの在り方、創造される雰囲気や空気といったものがすべて違うはずです。どちらが勝てるチームとなるかは考えてみれば明らかです。

この日常の「常識」や「当たり前」の感覚は、自身の成長や夢の実現に向けてとても重要な要素です。物事は、奇跡はあってもまぐれは起こりません。どういう意味かと言うと、日常、コツコツと積み上げていることや、自然と身についていることなど(例えば、「返事！あいさ！声！ダッシュ！！」です)が、しっかりと土台にあると、力量が劣っていてもどこかに突破口が見い出され、勝利への道が見えて来ます。しかし、日常の積み上げた土台がなければ、相手がミスをしない限り突破口は見いだされません。つまり、「こうなればいいなあ」と思うだけでは、たいていはならないということです。努力を積み上げていることが大切です。

日常の「意識」を大切にして、自分に厳しくあってください。「意識」が変われば「行動」が変わり、「行動」が変われば「習慣」が変わります。「習慣」が変われば必ず「結果」が変わるということを実感できるよう、前進していきましょう。